



—没後100年記念— 尾道市立美術館 リニューアル・オープン1周年記念 特別展I

印象派の巨匠 *Camille PISSARRO et les peintres de la vallée de l'Oise*

カミーユ・ピサロとオワーズ川の画家たち

2004年3月20日[土・祝]→4月25日[日]

主催=尾道市立美術館/中国新聞備後本社 後援=フランス大使館/広島県教育委員会/NHK広島放送局 協力=ANA/JR西日本



開館時間=午前9時—午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日=月曜日
観覧料=大人一般 1,000円 大学・高校生 800円
中学・小学生 500円

[前売は各200円引/20名以上の団体は各100円引]
(前売券は、中国新聞販売所、JR西日本[岡山・広島エリア]の主な駅のみどりの窓口で)小学生未満は無料です。70歳以上のかたと、お身体に障害をお持ちのかたと、また、その介助が必要なかたの介護者1名は無料です。証明できるものを提示ください。



上: カミーユ・ピサロ《森のはずれ》1878年、フランス個人蔵
中: カミーユ・ピサロ《橋り入れをする人々》1880年頃、フランス個人蔵
左下: カミーユ・ピサロ《セーヌ川の川船》1884年頃、カミーユ・ピサロ美術館蔵
右下: カミーユ・ピサロ《白画像》1890年、カミーユ・ピサロ美術館蔵

カミーユ・ピサロ Camille PISSARRO

(1830年 デンマーク領[当時]西インド諸島 サン・トマ島—1903年 パリ)



パリの国立美術学校とアカデミー・シュイスに学び、モネやセザンヌと知り合い、1855年のパリ万国博覧会でドラクロワやクールベ、コローに影響を受ける。1859年にサロンに初入選し、普仏戦争を逃れてロンドンでモネと再会する。

1874年の第1回印象派展に参加し、以後8回すべての印象派展に出品する。温厚な性格と、巧みな後進の指導で、セザンヌやゴッガンなど多くの画家に慕われた。晩年には、円熟した印象派の技法で、間近な視点から田園風景を描き、また、高い視点からパリの街を描き続けた。

温かなまなざしが、こもればと出会う道

○特別記念講演会

「カミーユ・ピサロとオワーズ川の画家たち」

会場: 尾道市立美術館 日時: 3月27日(土) 14:00~16:00

講師: 島田紀夫(実践女子大学教授)

* 当日の入館者を対象とします。申込みは不要です。

尾道市立美術館

〒722-0032 尾道市西土堂町17-19 千光寺公園内 Tel.0848-23-2281

—没後100年記念— 尾道市立美術館 リニューアル・オープン1周年記念 特別展I
印象派の巨匠 Camille PISSARRO et les peintres de la vallée de l'Oise

カミーユ・ピサロとオワーズ川の画家たち

カミーユ・ピサロ(1830—1903)は、ブーダンやドービニーとともに、いち早く「光」や「動き」を画面にとらえようとし、印象派の手法を開花させました。ピサロが好んで描いた、パリの北でセーヌ川へ注ぐオワーズ川ぞいの地方には、穏やかな田園風景が水辺に広がり、印象派や、続く世代の

画家たちが長く集いました。本展では、ポントワーズのピサロ美術館で行われた、ピサロ没後100年記念展の出品作から、ピサロと息子たちや、オワーズ川ぞいの地方で活躍した画家たちによる、油彩・水彩・素描・版画など、約100点の作品で、バルビゾン派から印象派を経て、新印象派へと展開する、19世紀フランス絵画の流れを、オワーズ河畔の風景から展示します。そして、新印象派の点描法にまで到達しながら、最晩年に、もっとも印象派らしい画風へと帰帰した、巨匠ピサロの長い歩みをたどります。

温かなまなざしがこもれびと出会う道をピサロと歩いて、あなたの心の日だまりを見つけてください。



①カミーユ・ピサロ《穫り入れをする人たち》1880年頃



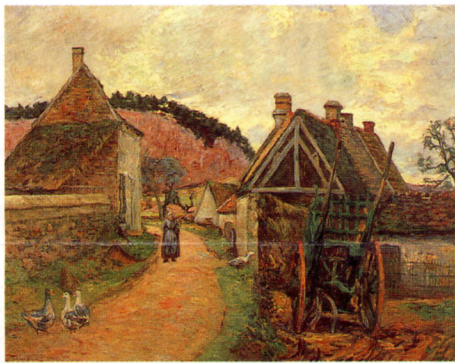
②リュシアン・ピサロ《松林》1892年



③カミーユ・ピサロ《エラニーの村の入口》1884年



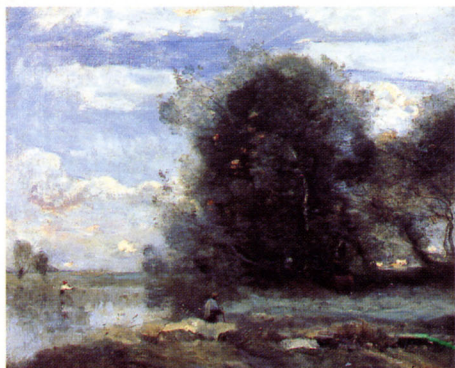
④シャルル=フランソワ・ドービニー《ヴァルモンドワの下草》1872年頃



⑤アルマン・ギヨマン《イール=ド=フランスの風景》1885年頃



⑥カミーユ・ピサロ《じゃがいもの穫り入れ》1871年



⑧カミーユ・ピサロ《釣りをする人、または、北の沼の思い出》1871年頃

- ①⑤フランス個人蔵
- ②④⑦カミーユ・ピサロ美術館蔵
- ③ポーラ美術館蔵
- ⑥イギリス個人蔵
- ⑧ビューラー=ブロックハウス・コレクション蔵



⑦カミーユ・ピサロ《夕暮れの積み藁》1879年

ご利用案内

- JR 西日本・山陽本線「尾道駅」から東行き(1番乗り場)のバスで「長江口」下車、ロープウェイで「千光寺公園」へ。
- お車で越しの場合、「千光寺ドライブウェイ」経由で「かおり橋駐車場」へ(駐車券をご提示いただけましたら、当日券をお求めのかた1名様に限り、200円割引いたします)。
- 「尾道駅」および「新尾道駅」からタクシーで1,200円程度です

○次回展覧会予告

「ヴェネツィアの光と影 —イタリア絵画の400年—」
 2004年4月29日(木・祝)~6月20日(日)

尾道市立美術館

〒722-0032 尾道市西土堂町17-19千光寺公園内 Tel.0848-23-2281 Fax.0848-20-1682

